

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・CM等の広告が質的に充実したため客への認知度が上がった。
	やや良く なっている	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・平日はほとんど変わらないが、夏休みに入ってから特に土、日曜日の買物量が増えている。遊び関係の支出が多いため、単価、金額とも上がっている。
衣料品専門店 (経営者)		販売量の動き	・前年に比べて、5～7月の売上は良くなっている。梅雨明けが遅れたが、新しいファッションの夏物商品が良く売れている。また、7月はバーゲンも非常に良かった。	
変わらない		商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街で発行している共通駐車券の売上は長い間減少傾向にあったが、4月以降はプラスに転じており、来客数も増加していると思われる。しかし、7月は冷夏のため夏物バーゲンが良くなかった。
		スーパー(店長)	単価の動き	・一品単価の低下の影響が大きく、加えて1人当たり買上点数も若干減少し始めたため、客単価が落ちている。
		スーパー(店長)	単価の動き	・来客数、1人当たり買上点数は変わらないが、一品単価が5%程度低下したため、客単価はややダウンしている。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・特に食品を中心とした1人当たり買上点数は減少したままである。
		スーパー(営業担当)	単価の動き	・来客数は横ばい又は若干増加しているが、客単価が落ちている。特に食品の低単価傾向が続き、一品単価が下がっている。また、客は安い物を求めて買い回している。
		家電量販店(経営者)	販売量の動き	・エアコン、冷蔵庫が、長い梅雨と低温により前年に比べて大幅に落ち込んでいる。パソコンやデジタル家電などは健闘しているが、前者の落ち込み分をカバーできない。
		乗用車販売店(総務担当)	単価の動き	・従来、当社は高級中型乗用車が主であったが、高齢層を中心に車の買換えが止まっており、現状は若い人向けの安いリッターカーを中心に動いている。このため売上単価は伸び悩んでいる。
		住関連専門店(店員)	販売量の動き	・大型家具の伸びは順調であるが、ホームファッション部門では夏物商材の売行き不振が目立つ。
		その他専門店 [医薬品](営業担当)	来客数の動き	・来客数は微増であるが、1人当たり買上点数と一品単価が横ばいである。
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・7月上旬には夏のバーゲン、中旬には新盆などで人が動いたため、ランチを中心に足は好調であったが、下旬に入って動きが鈍くなった。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・客の動きは中旬までは良かったが、その後は鈍くなり、昨年とほとんど変わらない。客にとってボーナスから厚生年金保険料など差し引かれる金額が大きかったため、手取り額が減少したことが響いている。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・前年に比べ観光客の減少による客室単価の低下が続いている宿泊部門と、昨年の大型宴会に代わるものがなかった宴会部門は前年を下回っている。一方、婚礼件数はほぼ昨年並みとなり、またレストランは、ファミリー向け企画商品の販売などにより好調に推移した結果、売上は前年を若干上回る見込みである。
		タクシー運転手	お客様の様子	・中高年の客から「7月初めにボーナスの支給があったが、厚生年金や健康保険料の天引きが大きいこともあって例年になく厳しく、娯楽や夜の繁華街であまりお金を使えない」という嘆き声がよく聞かれた。
		競輪場(職員)	単価の動き	・来場者は増加しているが、1人当たり車券購入額に変化はみられない。
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・新築物件の減少から、依然として受注ボリュームは減少しているが、仕事は忙しい。受注量と仕事量が連動しない状況が続いている。
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・3月から7月まで、受注は非常に好調なため、大工や他の職人がフル回転しており、不足状態である。		

		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・昨年に比べて、販売量はほとんど変わらないが、ローン控除の優遇措置の駆け込み需要が若干みられた。
やや悪くなっている		商店街(代表者)	販売量の動き	・当店独自の詰め合わせセットは例年並みであるが、大手メーカーのゼリーやジュースなどの夏菓子セットは価格競争が激しく、売行きも悪い。
		一般小売店[鮮魚](店長)	お客様の様子	・客の来店回数は変わらないが、買物の仕方が以前よりシビアになっている。客は安い物を選んで購入するため、特売商品の販売ウエイトが増加している。
		一般小売店[鮮魚](従業員)	販売量の動き	・冷夏の影響により、ビアガーデンを始め飲食店の来客数が落ちているため、これらの業者向けの売上が減少している。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・今年は梅雨シーズンが長引いたため、季節商品のサンダルが前年の70%、日照の日数が少なかったため、晴雨兼用傘が同45%と振るわなかった。
		百貨店(営業担当)	単価の動き	・7月の柱である中元の動向は、単価的には例年より約10%の低下、注文点数は同15~20%の減少となっており、客の財布のひもは非常に固い。
		スーパー(店長)	単価の動き	・中元ギフトは前年に比べて単価、件数ともに落ち込みが顕著である。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・夏物衣料やレジャー用品の動きが非常に悪い。単に気温の低下の影響だけでなく、生活の行動パターンから遊びの要素が減っているためとみられる。家電量販店でも、天候以外に同じ要素があるとみている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・7月は暑くなかったため、ソフトドリンクを中心に売行きが不振であった。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・一部の商品には販売台数の好調さがみられるが、ほとんどの商品は台数、金額ともに前年割れである。
		乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・新車の中規模イベントを企画しても来場者は少なく、低価格車、低維持コスト車、中古車などにシフトする傾向が強い。
		一般レストラン(店長)	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでいる。以前は100円ビールの販売で客を呼べたが、最近では効果が二日間しかなく、長く続かない。
		都市型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・宿泊部門の単価の低下が続いている。加えて、婚礼部門はいわゆるジミ婚のため厳しい。レストラン部門の単価は落ち着いているが、高単価な物はほとんど出ない。
	住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・受注件数の減少傾向が止まらない。前年と比べても同じ状況である。	
悪くなっている		コンビニ(経営者)	それ以外	・今年の梅雨は雨と日照時間が少なく、肌寒いため、飲料、アイスクリーム、ビールなどの夏物商品の動きが非常に悪い。
		その他専門店[酒](経営者)	販売量の動き	・中元商品の売上は昨年に比べて3割減少している。一般の商品についても同様である。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・観光バスを中心とした団体ツアー客の動きが鈍いだけでなく、梅雨明けが遅れているなどの影響から、個人客の動きも鈍くなっている。前年同月比で来客数が20%近く減少している。
		美容室(経営者)	販売量の動き	・今月は前年同月比で売上、来客数ともに10%程度減少している。冷夏とボーナス支給額の減少が重なったためと思われる。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・最近の受注量、受注価格ともに前年同期比、前月比で上昇傾向となっている。特に価格は下げ止まり感が現実のものになってきた。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・ブロードバンド系の需要動向は好調である。また、大型案件もかなり動いている。
変わらない		繊維工業(経営者)	競争相手の様子	・相変わらず同業者の受注価格の低下が続き、厳しい状態である。
		プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず物件のロットは小さいまま変わらない。
		電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・春先好調であったコネクター関係はここ1、2か月間の受注が減少していたが、8月からはまた回復の見込みである。

		司法書士	取引先の様子	・最近住宅ローンの返済についての相談や、一般家庭での景気の悪い状況を示す相談が特に多くなっている。
	やや悪くなっている	金融業（融資担当）	取引先の様子	・特に建設関連業種の受注状況が縮小している。
	悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量が減少しているが、競合他社の低価格競争などにより特売数量の減少が目立つ。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・大都市であまり競合しない大手ゼネコンが、北陸3県において採算度外視と思える建築価格で落札するケースが続出しており、対応が困難な状況が生じている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・取引先からは仕事量が増加し、現状人員では対応できないという理由から、特に派遣社員の依頼が多くなっている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は前年に比べて1割増の水準を維持している。中身はIT関連の一部業種のアルバイト関係などである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の増加傾向が続いている。求職者は減少傾向であるものの滞留が続いている。増減の幅は縮小している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・在職者の新規求職数が増加している。先行きの不安感から前年に比べて7か月連続で在職者の就職活動が増えている。
	悪くなっている	-	-	-